

宮代町

(1) 特色ある生涯学習の取組について

○宮代町郷土資料館における子供向け体験講座の開催

体験を通して宮代町の歴史・文化に触れ、先人の知恵や知識を学び、郷土に対する愛着を深めることを目的に開催。

①夏休みとっておき体験「郷土資料館に行こう」(講師・学芸員、8月に6回)

- ・小学生1年生以上(縄文ペンダントづくり、しぼり染め体験初級、和とじノート)
- ・小学生4年生以上(まがたまづくり)

②縄文土器をつくろう ～私も今日は縄文人～(講師：近隣市学芸員)

- ・土器づくりのほか、火起こし体験、縄文ペンダントづくりを行う。

○宮代町郷土資料館企画展・特別展の開催

①企画展「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ」 期間：5月12日～7月8日

②企画展「収蔵品で語る宮代の民俗3 てぬぐいのある風景」

期間：7月14日～10月21日

③特別展「明治時代のみやしろ」 期間：10月27日～12月24日

④企画展「おひなさま」 期間：平成31年1月5日～3月3日

⑤企画展「道仏遺跡発掘出土品展」 期間：3月9日～5月6日

○特別展講演会

特別展「明治時代のみやしろ」の開催にあわせ、「西郷どんとその時代」の演題で、東京学芸大学教授の大石学氏に講演していただいた。



▲特別展 ポスター



▲企画展「収蔵品で語る宮代の民俗3 てぬぐいのある風景」

てぬぐいが描かれている錦絵(展示史料より)

○歴史講座「東部地区の祭礼行事」と題して、放送大学講師・白岡市教育委員会専門員の板垣時夫氏に講演していただいた。

○新みやしろ郷土かるた大会(町内小学生対象。参加87チーム・261名)

- ・楽しく遊びながら郷土みやしろの歴史や人物、自然を知り、郷土を愛し、住みよい宮代を築いて欲しいとの願いを込めて実施している。

○地元大学との連携事業

- ・子ども大学みやしろ(町内小学校4～6年生対象。参加54名)

日本工業大学、町内企業等と連携し、学校の授業では体験できない子供の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供することを目的に開設し、全4回の講座実施。

- ・新みやしろ郷土かるた大会において、共栄大学学生に審判員として協力いただいた。

○指定管理者制度を活用した町立図書館の運営

指定管理者が持つ専門性を活用した事業展開、適切な施設管理。

- ①自主事業の充実（宮代町史等の郷土資料のデジタル化の実施、郷土講演会開催、ナクソス・ミュージック・ライブラリー活用等）
- ②町内小中学校との連携（学校図書館の巡回、電算システムによる蔵書管理）
- ③町民ボランティアの活躍（8団体が様々な分野で活躍）

（2）生涯学習活動の支援のための施策について

○みやしろ大学（町内在住 60 歳以上対象。登録者 306 名）

- ・心豊かで生きがいのある生活を過ごしていただくための知識を学び、仲間づくりをしていただく場として実施。受講生から募った運営委員 10 名による自主的な企画・運営をしている。一般教養のほか、音楽、ウォーキング、県外研修等を年間 8 回の講義を開催。

○第 40 回宮代町民文化祭

- ・町民の文化芸術活動の成果を発表する場、鑑賞者が活動に参加するきっかけ作りの場として、毎年文化の日を中心に 4 日間開催。舞台発表の部に約 1,430 名、作品展示の部に約 1,750 名が参加した。
- ・文化公演会「青島広志の楽しい音楽会」を開催し、399 名が来場した。

○各種団体への支援

- ・町内の 3 公民館は貸館事業のみを実施している。定期利用団体は会員の高齢化等の問題を抱えており、新規会員の募集等を支援している。

（3）家庭・地域の教育力の向上のための施策について

○家庭教育学級

- ・小学校と連携し、就学時健康診断の時間を活用し親の学習会を開催。

○子ども大学みやしろ（再掲）



新みやしろ郷土かるた大会



子ども大学みやしろ



みやしろ大学



家庭教育学級

